

図書館だより



2023年度第7号
2023年11月
山潟中学校図書館



11月9日(木)の午後は休館します。

司書が出張で不在になるため、11月9日(木)の午後は休館します。生徒の皆さんはランチなしで午前放課の予定の日ですが、終学活後の貸し出しと館内利用はできません。返す本がある人は、返却ボックスに入れてください。



11月15日(水)から30日(木)まで、秋の読書週間です。

★貸出冊数が増えます

期間中、貸出冊数が6冊までになります。

★図書委員会の企画

- ・期間中ポイント2倍(ポイントがたまった人は交換もどうぞ!)
- ・お昼休みの放送での、おすすめの本の紹介
- ・しおり作り

を、予定しています。

この機会に、ぜひ図書館に足を運んでください。お待ちしております。



皆さんの学習や進路選びを応援します。

先月、1年生は総合学習で興味を持った職業について調べましたし、2年生は職業体験に行きましたね。そして、3年生の中には、高校の体験授業に参加して、高校受験が近づいていることを改めて感じた人もいます。

学校図書館には、職業について調べる本、もっと間近な「進学」、そのために必要な「学習」についての本もそろっています。

- ◎その職業につくためには、どんな学校に行って、どんな勉強をしたら良いか書いてある本
- ◎公立高校の入試問題集(過去問) →最新の令和6年度版が入りました!
- ◎高校や大学の科・学部について調べられる本
- ◎面接や作文の対策に関する本
- ◎受験の心構えについての本
- ◎テスト対策や勉強法の本

などです。教科書の内容をより深く学ぶための本もありますので、ぜひ活用して欲しいと思います。



読書の幅を広げよう！

山潟中学校では、3年間に学校図書館の本を100冊読むことをひとつの目標としていますが、蔵書は絵本や紙芝居を含めると約13500点もあるので、100冊借りたとしても大部分の本を読まないまま卒業する、と言って良さそうです。

「でも、何か読む本がないんだよなあ…」と感じている人が、きっといると思います。そういう人は、読書の幅を少し広げてみましょう。

読書の幅を広げるには、次のような方法があります。

・同じ作者の本を読む

以前に面白いなと思った本と同じ作者の本で、まだ読んだことがない物はありませんか？

単行本の棚になくても、文庫本や「国語の教科書に紹介された本」の棚にあるかも知れません。学習用端末を使って検索してみましょう。

・同じテーマやジャンルの本を読む

「怖い話」「推理小説」「スポーツ小説」など、同じテーマやジャンルの本を探してみるのも良いと思います。「スポーツが好きで、ルールや上達法は読んだことがあるので、今度はスポーツをテーマにした小説や選手の伝記も読んでみる」「スポーツ小説を読んだけど、細かいルールは知らないから調べてみよう」と言うように、文学以外の本から文学を、あるいは文学の本から文学以外の本を読んでみるのも「読書の幅の広がり」と言えるでしょう。

・他の人がすすめる本を読む

まず、山潟中の生徒がおすすめる「みんなのおすすめ!」の本があります。入口前の丸テーブルに展示コーナーがあるほか、学習用端末の蔵書検索でキーワードに「おすすめの本」と入れて検索すれば、ブックリストが表示されます。また、カウンターに置いてある中央図書館が作ったリーフレット「Leaf」や、出版社の団体が作ったYes-Noチャート付きのブックリスト、本として出版されているブックリストも館内にありますので、そういったものを見て本を探してみるのも良いと思います。司書もたまに本を選ぶ参考にしていますが、「動画サイトやSNSで誰かが紹介していた本」や「新聞の書評欄にのっていた本」も、「他の人がすすめる本」ですね。

・「深掘り」してみる

「同じテーマやジャンルの本」に少し似ていますが、「その本を書く時に作者が参考にした本を読んでみる」「その作品の中に出てきた別の作品を読んでみる」のはどうでしょう？例えば、本や昔話をテーマにした作品や、書店や図書館を舞台にした作品で出てきた作品に興味を持ったら読んでみる。そうすると、元の作品がもっと良く理解できたり、面白く読めるようになったりするかも知れません。

秋の読書週間で貸出冊数が増えるので、今までとは違う本にも挑戦してみてもどうでしょうか。

11月のテーマ展示

A 『英語』は世界へのとびら

英語を学ぶことは、日本の外の「世界」を知るのにとっても役立ちますね。
英語の学習に役立つ本や、英語の絵本などを紹介します。

B 読書週間に、長編に挑戦！

読書週間の標語は「私のペースで しおりは進む」です。
あなたのペースで、少し長い小説に挑戦してみませんか？